

若者に夢と希望を与える次世代リーダーを表彰 「第9回若者力大賞」受賞者決定のお知らせ

公益財団法人日本ユースリーダー協会（本部：東京都港区・会長：三村 明夫・1969年設立）
（<http://www.youthleader.or.jp/>）は、「第9回若者力大賞」の受賞者を決定いたしました。
表彰式は、下記のとおり、2018年2月21日（水）に開催いたします。

当日まで日にちがまだございますが、表彰式には一般の方々参加を募っております。本表彰式の社会性を鑑み、読者や視聴者の方々へのご案内に、何とぞご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

合わせまして受賞者の事前取材も歓迎いたします。どうぞ彼らの活動の一端を広く社会にお伝えいただけると幸いです。

「若者力大賞」は、若者ならではのパワーと使命と行動力をもって、社会のための貢献活動に取り組んでいる20代・30代の次世代リーダー、及び、その指導者（個人・団体）を表彰することにより、次世代育成に対する社会的な関心を高め、同時に次に続く若い世代に、夢と希望とを与えることを目的として、2009年度からスタートいたしました。
今回もすばらしい活動をされている5名（組）の受賞者を表彰いたします。

「第9回若者力大賞」表彰式・交流会

日 時：2018年2月21日（水）18：00～20：30（17：30受付開始）

会 場：六本木ヒルズ・ハリウッドプラザ5階「ハリウッドホール」（東京都港区六本木6-4-1）

式次第：1. 主催者挨拶 2. 審査委員紹介 3. 審査結果発表
 4. 表彰式 5. 記念撮影 6. 交流会

参加費：一般5,000円 学生1,000円（交流会含む） ※報道関係者の方はご招待

定 員：先着300名

申込方法：ホームページ（<http://www.youthleader.or.jp/>）

またはFAX（03-6441-0582）、メールにてお申しいただけます。

主 催：公益財団法人 日本ユースリーダー協会

協 力：学校法人メイ・ウシヤマ学園 ハリウッド大学院大学

公益財団法人日本ユースリーダー協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 野村不動産溜池ビル5階
TEL：03-6441-0581（代） FAX：03-6441-0582
MAIL：day@youthleader.or.jp （担当：加藤・丸山・林）

参考資料

■ 公益財団法人日本ユースリーダー協会について

国際的なユースリーダーの育成を目的に1969年に設立。次代を担う若きリーダーの育成・支援・啓発などの事業活動を通じて、若者が活躍できる社会づくりに取り組んでいます。

◇ 団体概要

名称：公益財団法人 日本ユースリーダー協会
代表者：評議員会会長 三村 明夫（新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長）
理事長 井上 義郎（川崎重工業株式会社 元代表取締役副社長）
設立：1969年7月1日（※公益財団法人：2012年4月1日登記）
所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 野村不動産溜池ビル

■ 「若者力大賞」について

◇ 各賞の説明

<若者力大賞>

下記3部門の中から、特に顕著な活動成果をあげている個人又は団体

<ユースリーダー賞>

若者ならではの自由な発想と強い使命感をもって、社会的活動に取り組んでいる次世代リーダー

<ユースリーダー支援賞（個人部門・団体部門）>

若者の持つ才能を見出し、育み、伸ばすことで次世代リーダーを育成する優れた指導者、団体

第1回～第8回の「若者力大賞」受賞者（敬称略）

第1回	MISIA（歌手）	田中 将大（プロ野球選手）
第2回	山口 もえ（タレント）	栗城 史多（アルピニスト）
第3回	村田 修一（プロ野球選手）	
第4回	平原 綾香（歌手）	
第5回	宇佐美 吉啓（パフォーマー/EXILE USA）	
第6回	道端ジェシカ（モデル）	
第7回	倉木 麻衣（歌手）	
第8回	ジギャン・クマル・タパ（駐日ネパール大使公式通訳）	

◇ 審査方法および選考基準

自薦他薦による応募の中から、外部有識者を中心とする審査委員会によって選考される。選考基準として、<ユースリーダー賞>では社会的な使命感の強さ、行動力、ユニーク性、将来性、若者への影響力などの項目。<ユースリーダー支援賞>では広く社会での活動、キャリア支援の実績、ユニーク性、波及性などの項目が設定され、客観的かつ厳格に審査される。<若者力大賞>は両賞の中から特に評価の高い活動、実績をあげているリーダーに授与される。

◇ 審査委員（敬称略）

三村 明夫 新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長／当協会・会長（審査委員長）
西尾 進路 JXTGホールディングス株式会社 名誉顧問／当協会・副会長
山中 祥弘 学校法人メイ・ウシヤマ学園 理事長
橋本久美子 橋本龍太郎元首相・令夫人
蛭田 史郎 旭化成株式会社 相談役

第9回 若者力大賞 受賞者一覧 (敬称略、年齢は発表日時点)

◇若者力大賞

サヘル・ローズ / 女優・モデル (32歳)



1985年イラン生まれ(32歳)の在日イラン人で、日本の女優・モデル。幼少時代を孤児院で過ごし、7歳の時、現在の養母となる女性と出会い、8歳で養母と共に来日。血のつながりのない養母に愛情深く育てられたおかげで、今の自分があると告白する。誰もが生まれてきてよかったと思える社会にしたい、そう語る彼女が1人1人の子どもと向き合うことの重要性を訴える。様々な苦難を乗り越えながら、高校時代から芸能活動を始め、現在は、同じ境遇に苦しんでいる孤児院の子どもたちを支援し、自身が有名になることで、同じ境遇で育つ孤児院の子どもたちに夢を与えようとしている。夢は、イランに児童養護施設をつくること。また国際人権NGOと共同で、施設養護から家庭養護への社会変革を成し遂げるべく、政策実現にも貢献している。現在、女優、タレントとして多くの番組等に出演し、7本のレギュラーを持つ。

◇ユースリーダー賞

堀江 敦子 (ほりえ あつこ) / スリール株式会社 代表取締役 (32歳)



1985年生まれ(32歳)、スリール株式会社 代表取締役。20代女性の多くは専業主婦志向が高まってきている。その背景には仕事と子育ての両立への不安が影響している。若者に当事者意識を持ってもらうための方法として、仕事と子育ての両立を体験する「ワーク&ライフ・インターン事業」を展開。共働きの家庭に、大学生が子育てインターンとして入り、自分たちの将来の姿でもある子育てや働き方、生き方をリアルに学ぶ機会を持ってもらうというもの。将来に悩む大学生が、仕事と子育ての両立について学び、それが共働き家庭を支えることにもなる。2010年設立したスリール株式会社(スリールは仏語で「笑顔」)は現在、若手のライフキャリア教育や、管理職のダイバーシティマネジメント研修など、「子育てをしながらキャリアアップする」人材育成・組織開発の事業を企業や行政にも展開している。少しずつ意識を変えていけば、社会が変わるかもしれない。キャリア教育と子育て支援、少子化対策を一度に担える事業によって、「誰もが自分らしいワーク&ライフが実現できる社会」を目指す。

◇ユースリーダー賞

矢田 明子（やた あきこ） / Community Nurse Company株式会社
代表取締役（37歳）



1980年生まれ(37歳)、Community Nurse Company 株式会社 代表取締役。「コミュニティナース」とは地域の住民たちとの関係性を深めることで、健康的なまちづくりに貢献する医療人材。病院で働く看護師との違いは、専門的な治療の補助を行うのではなく、日常的な相談や、見守り、巡回などを通じて身近な安心を提供することで地域に関わり、まちを健康にする存在。健康診断を受けていなかった父の死をきっかけに26歳で看護師を目指し、島根県雲南市で、課題の多い地域医療の現場で住民に寄り添った解決策を次々と打ち出している。自らを“コミュニティナース”と呼んでスマホのアプリを活用した訪問看護の立ち上げに寄与し、自宅で過ごしたいお年寄りたちの願いをかなえたり、さらには全国から学生が集まる地域医療を学び体験するツアーなどを通して、地元で多くの医療関係者を呼び込んでいる。高齢化が進む中、住民の健康を守るヒント満載の矢田さんの挑戦は、他の地域へも展開を始めている。

◇ユースリーダー支援賞（個人部門）

小杉 周水（こすぎ しゅうすい） / 音楽家（41歳）



1976年生まれ(41歳)、音楽家。生まれつき目に障害があり、両親の勧めで6歳からクラシックピアノを習い学生時代はロンドンへ音楽留学するなど音楽活動に取り組む。3人の子どもに恵まれる中で、育児のつながりを通して耳の不自由な子どもと出会い、障がいを持つ親の複雑な思いに気づいて、「僕自身、目が不自由だったけれど明るく育ち、親となった。障がいを持つ親に『心配はいらないよ！僕は子どものころからこんなにこんなにハッピーで、明るく幸せだったよ』という想いを伝えたい」という気持ちから、2014年に「育音(Iku-ON)」というプロジェクトを立ち上げた。「育音」は、音楽を通じた育児で、様々な幼稚園、小学校、障がい者施設を訪問し、紙芝居や唱などを披露しながら、「音楽を通じた子どもの成長」と「保護者の方々の励まし」を行なっている。どこでもいつでも最高に可愛い子供達の笑顔に囲まれて、時に真面目に時に面白おかしく、子供達と大人達に向けて、言葉と音楽でメッセージを発信し続けている。

◇ユースリーダー支援賞（団体部門）

株式会社リバネス / 代表 丸 幸弘（39歳）・高橋 修一郎（40歳）



丸 幸弘（代表取締役 CEO、1978 年生まれ 39 歳）、高橋 修一郎（代表取締役社長 COO、1977 年生まれ 40 歳）。

「Leave a Nest」（巣立ち）が社名の語源のリバネスは、「科学技術の発展と地球貢献を実現する」という理念のもと、そこに集まる専門知識や技術・人などをつなぎ、組み合わせることによって社会に新たな価値を創出する研究者集団であり、小中学校への科学出前実験教室を通じた次世代育成や研究者の研究成果を事業化するシードアクセラレーションプログラム「TECH PLANTER」などを事業としている。研究成果の事業化の事例としては、ミドリムシのユーグレナをはじめ、孤独を解消するロボットを開発するオリィ研究所、日本初大規模遺伝子検査ビジネスを行うジーンクエスト、次世代風力発電機を開発するチャレナジー、腸内細菌ベンチャーのメタジェンなど多数。幼少期をシンガポールで過ごした代表の丸氏は、異文化と多様性に触れて育ち、日本に帰国すると現状の画一的な教育環境に唖然とした。世界を変える仲間が欲しい、その想いを実現すべく、世界の研究者の知を集め新しいものを生み出す知識プラットフォームを構築している。



公益財団法人日本ユースリーダー協会

107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 野村不動産溜池ビル

TEL:03-6441-0581 FAX:03-6441-0582

e-mail:day@youthleader.or.jp

(担当:加藤・丸山・林)



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

PRESS RELEASE



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

「第9回若者力大賞」表彰式・交流会申込用紙

FAX 03-6441-0582

MAIL : day@youthleader.or.jp

■日時：2018年2月21日（水）18：00～20：30（17：30受付開始）

■会場：六本木ヒルズ・ハリウッドプラザ5階「ハリウッドホール」（東京都港区六本木6-4-1）

誠にお手数ですが、必要事項をご記入の上、2月19日（月）までにご返信いただけますようお願い申し上げます。

ご出席

ご欠席

撮影：有 無

（ムービー／スチール）

貴社名

貴媒体名

お名前

ご出席予定人数

名様

お電話番号

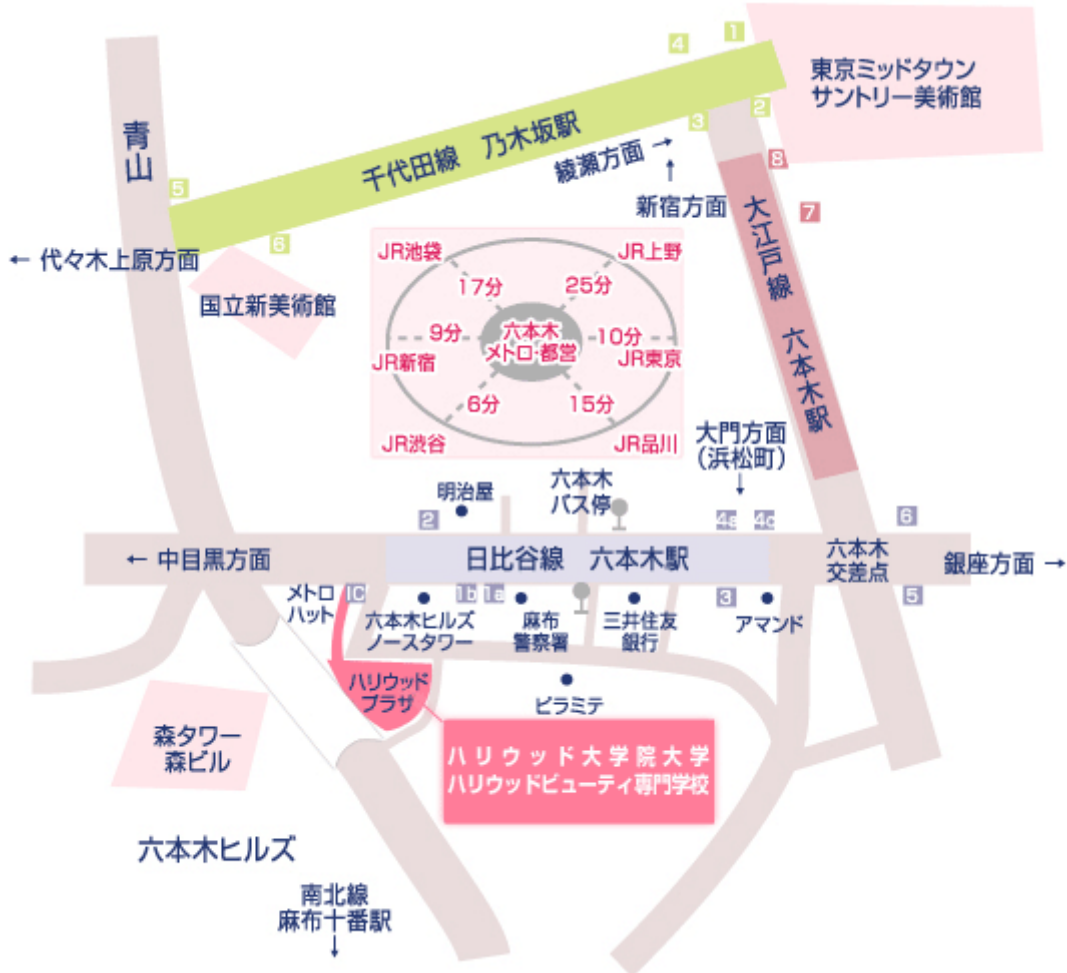
E-mail

通信欄

「第9回若者力大賞」表彰式・交流会

●会場案内図：ハリウッドホール

(東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ5階)



<最寄り駅・最寄りバス停>

●地下鉄

- | | |
|-----------------|----------|
| 東京メトロ日比谷線「六本木駅」 | 1 C出口直結 |
| 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」 | 3番出口徒歩3分 |
| 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」 | 5番出口徒歩6分 |
| 東京メトロ南北線「麻布十番駅」 | 4番出口徒歩8分 |



●バス

- | | |
|----------------------|---------------|
| 都バス 01系統（渋谷・新橋） | 六本木バス停下車1分 |
| 港区ちいばす（田町駅前・赤坂見附駅循環） | 六本木ヒルズバス停下車0分 |